

Web Usability & Accessibility

ウェブのユーザビリティとアクセシビリティ

Vol.3

インターネット利用者の増加にともない、不正アクセスによる個人情報の取得や開示によるトラブルが多発している。商取引とも深く関わる問題だけに、経済産業省ではプライバシー情報の保護に関するガイドラインを提示し、「情報セキュリティ評価認証体制」を運用開始した。今回は経済産業省サイトの診断と改善提案を行っていく。



アクセシビリティ分析担当

濱田英雄

(株)ユーディット 主任研究員
hamada@udit-jp.com



ユーザビリティ分析担当

石田直子

(株)ユーディット 研究員
naoko@udit-jp.com

(株)ユーディット

URL <http://www.udit-jp.com>
「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている。

プライバシー情報収集には さまざまな手段を用意すべき

近頃ではインターネット利用者のうち、3人に2人がインターネット・ショッピングの経験があるといえます。その際には、配達先住所や電話番号、クレジットカード番号などの個人情報を入力しなければなりません。こうしたプライバシー情報をネットで提供することに、あなたは抵抗ありませんか。

ユーディットでは、アクセシビリティやユーザビリティのモニター調査を行っていますが、このときに必ず問題になるのがプライバシー情報の取り扱いです。とくに、クレジットカード番号の入力には抵抗感を覚える方が多いようです。通信販売でカード番号をFAX送信できる人も、Webのフォーム入力での送信は抵抗があるなど、プライバシーについての許容範囲は人それぞれで、異なる考え方があって当然です。サービス提供側がさまざまな手段を用意するのが、ユーザビリティの高いサイトといえるでしょう。

プライバシー情報保護の チェックポイント

経済産業省では、2001年4月から「情報セキュリティ評価認証体制」の運用を開始しました。

http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/iso_iec15408.htm

このページには、プライバシー情報の保護に関するガイドラインも出ています。しかし、こうしたガイドラインには難解な文章が続くので、全部読みきるのは大変です。では、我々がインターネット・ショッピングなどをする場合、個人情報の取り扱いについて、どんな点に注意すればよいのでしょうか。

ユーザビリティの高いWeb作りのための6ポイント

- ・ ユーザーにサイトの目的が伝わること
- ・ 全体像がトップページで把握できること
- ・ デザインや構成が統一されていること
- ・ 必要な情報が適切な場所にあること
- ・ 次の動作がわかりやすいこと
- ・ 予想されたフィードバックが返ってくること

(財)日本情報処理開発協会のプライバシーマーク制度のページには、消費者向けのチェックポイントが書かれています。

<http://www.jipdec.or.jp/security/privacy/>

個人情報を提供するときの確認事項

- ①私の個人情報は、どのような目的で使われるのか
- ②私の個人情報は、その企業だけが使うのか
- ③私の個人情報は、処理の目的のため、他社に委託・預託する場合はあるのか
- ④私の個人情報に対して、提供の後に開示・訂正・削除を要求することができるのか
- ⑤個人情報の管理者を任命しているのか
- ⑥漏洩や不正アクセスなどから、個人情報を守るための安全管理の体制が整っているか

情報入力前には、サイト上の個人情報保護方針やプライバシーステートメントで、上記事項について確認することが大切です。同時に、サービス提供側は、個人情報についてのステートメントをサイト上のわかりやすく記載してください。プライバシー情報の提供に抵抗がある人は、こうした情報をきちんと読んでいるものです。必要情報の配置にどれだけ配慮をしているかも、ユーザビリティを左右する一因となるのです。

経済産業省のホームページに 期待すること

省庁改編で、どの機関がどこに行ったか、新しい名前の機関では何をしているのかがわからなくなりがちです。今回も、経済産業省サイトを見るにあたって、その機関がどのような活動をしているのか調べるという視点で見てください。(文:石田直子)

アクセシビリティの高いWeb作りのための6ポイント

- ・ 画像にはALT属性をつけること
- ・ 外国語の乱用はしないこと
- ・ <title>タグは的確につけること
- ・ 背景と文字色はコントラストがあること
- ・ フレームの使用は必要最小限にすること
- ・ 新しい技術には代替手段を用意すること

ユーザビリティについて (解説/石田直子)

ユーザーにサイトの目的が伝わること ★★★★★

省庁系サイトの目的・役割は、どの機関も同じく、活動内容を伝え、情報提供し、さらに閲覧者から情報を収集することです。
 ・活動の概略
 ・経済産業省の所在
 ・発表資料、報告などの掲載、検索

上記内容は毎回同じなので、次回からは記載しませんが、政府関連のサイトの目的として覚えておいてください。

経済産業省での活動の資料や報告が常に更新され、掲載されています(図1-②)。ホームページを見れば、最近行われた発表などが手に入り、新着情報配信などのサービスもあります。情報発信の場としてのサイトを有効に使っています。

全体像がトップページで把握できること ★★★

トップページ上部に、「Contents」項目があり、サイト内の目次項目がまとめられています(図1-①)。「コンテンツ」という言葉が目に入ると、たいてい人はサイトの内容が書かれていると判断するでしょう。しかし、よく見ると、この項目以外にも内容は盛りだくさんのようです。

デザインや構成が統一されていること ★★★

「Contents」については、ヘッダを統一しています(図2-①)。これは「Contents」の項目、トップへのリンク、サイトマップへのリンクなどの必要なナビゲーション項目が用意されています。しかし、「Topics」の項目では使われていません。

必要な情報が適切な場所にあること ★★

「経済産業省のご案内」(図2)で、主な活動内容についての説明を探してみました。組織図などがありますが、該当する内容は見当たりません。企業でも、組織図だけでは事業内容がわかりません。大きい組織であればこそ、活動内容を紹介してほしいものです。よく見ると、活動内容はTopicsの「経済産業省へのお知らせ」中に、発足時の文章として掲載されています。また、キッズページにもわかりやすく書かれています。これは「経済産業省のご案内」にも入れて欲しいですね。

次の動作がわかりやすいこと ★★

「申請様式提供」では、電子様式をダウンロードできるので(図3)、実は半分は「電子化作業中」です。「電子化作業中」のものも、すべてリンクされています。準備ができていないものは、ユーザーにとってひと手間無駄になります。

予想されたフィードバックが返ってくること ★★★★★

PDF形式で資料を公開しているものが多いのですが、必ず「PDF形式」、あるいはPDFマークがついています(図4)。ダウンロードを予告する配慮はよいのですが、できれば言葉マーク、いずれかに統一してほしいところです。

ユーザビリティ総合評価 ★★★★★☆

一口コメント インターネットでの情報公開の場として、有効に使っています。経済産業省に関心を持つ、一般の大人向けコンテンツがほしいですね。

図1 http://www.meti.go.jp/index.html



図2 http://www.meti.go.jp/intro/aboutmeti/index.html

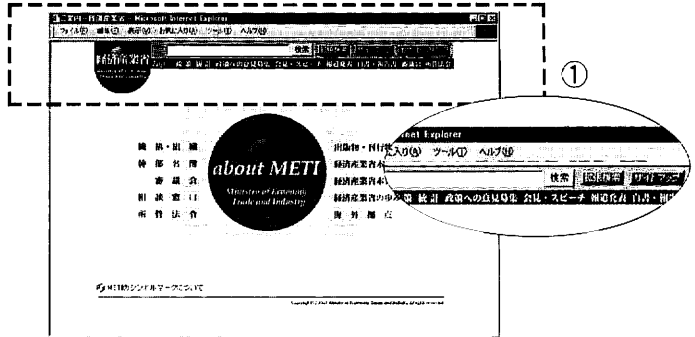


図3 http://www.meti.go.jp/application/ONESTOP/hourei.html

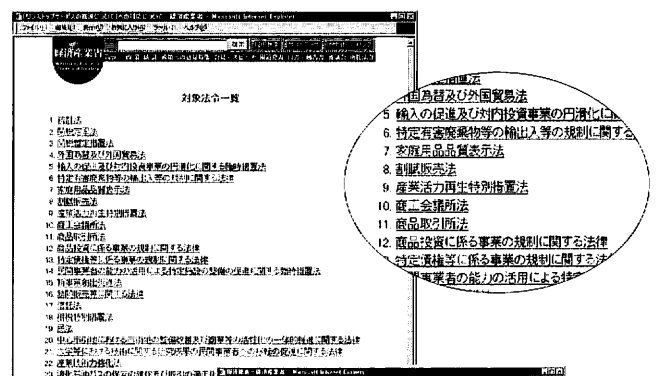


図4 http://www.meti.go.jp/kohosys/press/0001495

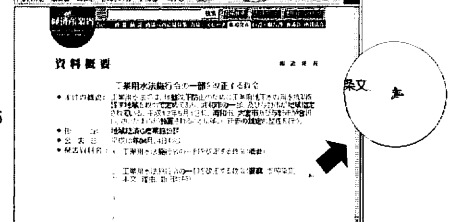


図5 <http://www.meti.go.jp/intro/minister/index.html>



アクセシビリティについて (解説/濱田英雄)

画像にはALT属性をつけること ★★

リンクの画像にはALT属性がついているものの、イメージマップや、各見出しタイトルに属性がついていないところがあります。

外国語の乱用はしないこと ★★

トップページの見出しタイトルがアルファベットになっていて、ALTのカタカナ読みもありません。ほかにも、わかりにくいカタカナ言葉が見受けられます。

<title>タグは的確につけること ★★

フレームを使用しているところで、<title>が同じになっているところがあります。また、つけ方にも配慮が必要だと思います。

背景と文字色はコントラストがあること ★★

一部写真にのせた文字が見づらい箇所がありますが、全体的には見やすいと思います。

フレームの使用は必要最小限にすること ★★

見出しのためだけに1フレームを使用して、結果として3つになっている箇所が見られます。また、フレームの構成がわかりにくくなっているところがあり、音声ブラウザ操作をしていると、現在位置が把握できなくなる場合があります。

新しい技術には代替手段を用意すること ★★

見た限りでは、新しい技術は使われていないようです。

その他

[トップページ] (図1)

このページに限らず、全体にテキストリンクの下線がなく、マウスが当たると下線付き赤文字になる設定がしてあります。Netscapeでは対応していませんし、マウス操作の難しい肢体障害者にとって、リンクが一別できないのは困ります。また、複数のリンク先が並んでいるところに区切りがありません。

[大臣・副大臣・大臣政務官のページ] (図5)

写真のリンク説明が書かれていますが、これは写真の前に説明しないと、音声では行きすぎてから読まれることになり、不親切です。

[会見・スピーチ(本文)] (図6-1、図6-2)

ソースを見ればわかりますが、ソフトを使うと細かい位置合わせをするために<table>や不必要なタグが多用される悪影響がでます。たとえば、<table>は表組をするために使われるもので、デザインのために使うのはルール違反になります。スタイルシートが不完全なので仕方ありませんが、極力減らしましょう。

[キッズページ] (図7)

自動車のページは優しく書いてありますが、アイコンはひらがな表記なのに、文章はかなり難しく、対象年齢をどこに定めているのかわかりません。

[その他]

フレームを使っているページで、NOFRAMES要素に「フレームを使用しない場合は、以下の情報を参照してください」となっているのに、情報が入りません。フレームが使えない環境の人のために、各フレームのリンク先を入れておきましょう。



図6 <http://www.meti.go.jp/speeches/index.html>

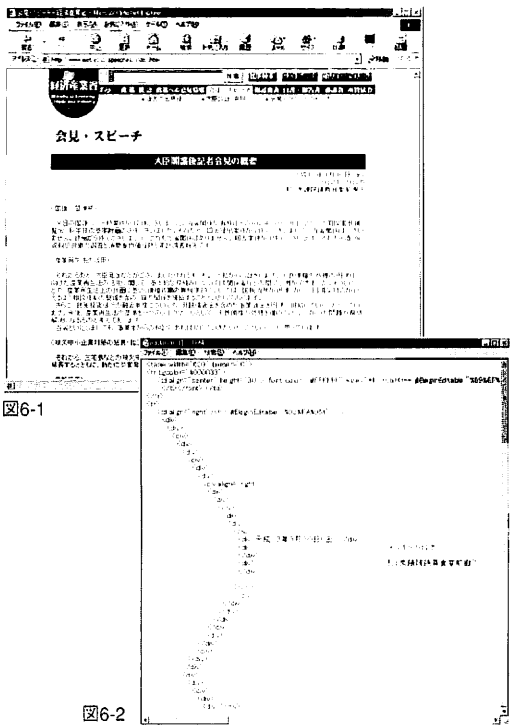
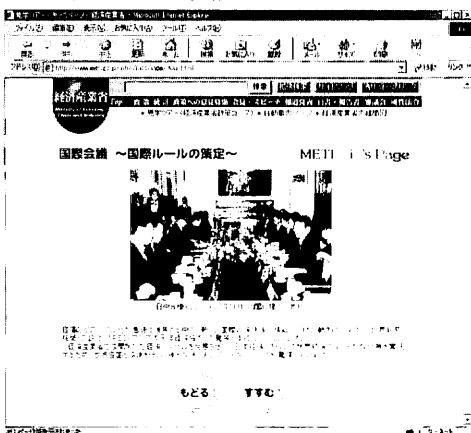


図7 <http://www.meti.go.jp/intro/kids/index.html>



アクセシビリティ総合評価 ★★☆☆☆

一コメント ALT属性のついていないところが多く、フレームの使い方もバラバラです。本当に必要なものを再検討すべきだと思います。